

「弱視児童・生徒の自立活動に関する指導内容・方法の研究」

—目と手の協応性を高める指導の在り方—

I 団体の概要

東京都弱視教育研究会は、都内の都立視覚障害特別支援学校4校、筑波大学附属視覚特別支援学校、都内弱視通級指導学級12校(小学校9校、中学校3校 ※1校休級中)により構成され、弱視児童・生徒が視覚障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する力を身に付けられるよう効果的な指導内容・方法について主題を設定して研究活動を行っています。

II 授業研究

本研究会では年2回授業研究を行い、研究主題に迫るための協議を重ねています。今年度は、目と手の協応性を高める指導の在り方について、研究を進めています。

指導講師：慶應義塾大学 経済学部 教授 中野 泰志 様

第1回 令和6年7月8日(月) 世田谷区立笹原小学校

授業者 主任教諭 豊田 裕美

題材名：「木版画に挑戦しよう」

目標 ・自分の見え方に合わせた彫刻刀の持ち方などを工夫する。

・彫刻刀の種類とつくり、特徴について理解する。

・安全上の留意点を知り、彫刻刀の扱いに慣れる。



第2回 令和6年11月25日(月) 江戸川区立小岩小学校

授業者 教諭 本多 千里

題材名：「コンパスと分度器を使って作図をしよう」

目標 ・自分の見え方の特徴を理解し、困難を改善・克服する。

・必要な援助依頼を想定する。

・適切な援助依頼を選択し、相手に伝える力を身に付ける。



III 講演会

○記念講演

令和6年4月22日(月)

演題：「弱視児の合理的配慮」

講師：慶應義塾大学 経済学部 教授 中野 泰志 様

内容：合理的配慮とは

・合理的配慮と自立活動の関係

・質疑応答

(作図について)

(言語スキルを鍛える方法)



○見学会

令和6年7月23日(火)

場所：「国立障害者リハビリテーションセンター」

内容：約22.5万㎡もの敷地内を、自立支援局を中心に案内していただきました。各施設の概要を伺い、視覚障害や身体障害のある方の生活の質を向上させる支援機器を拝見させていただきました。

○講演会

令和6年12月2日(月)

演題：「目と手の協応を高めるための弱視児への指導」

講師：鳥取大学地域学部地域学科 准教授 渡邊 正人 様

内容：I 姿勢・運動、認知の発達(令和5年度の確認)

II 目と手の協応を高めるための発達の視点

III 主な眼疾患と見え方の特徴

IV 指導法の検討

1 弱視の見え方体験をしてみよう(グループ検討)

弱視シミュレーション下における教材・教具の指導法の検討

2 事例検討(グループ検討)

IV 研修会・研究発表

- ◇第1回 専門性向上研修
令和6年5月13日(月)
演題:「教育的視機能評価について ～実技と考察～」
講師:東京都立葛飾盲学校 主幹教諭 丹羽 弘子
内容:ランドルト環の単独視標を用いた遠見視力と近見視力を測定する方法を学びました。

- ◇第2,3回 専門性向上研修
令和6年7月23日(火)
演題:「眼疾患による見え方と配慮事項について」
講師:東京都立久我山青光学園 主任教諭 川嶋 栄子
内容:児童の実態を把握することの大切さと、眼疾患の特徴と指導時の配慮について学びました。

演題:「感覚統合や見えにくいために苦手になりやすい運動の指導」
講師:東京都立葛飾盲学校 主幹教諭 丹羽 弘子
内容:「1分間でおきよう」「ゆっくりラジオたいそう」「1メートル走」「ミニサウンドテーブルテニス」等の運動を、参加した教員が実際に取り組み体感しました。

- ◇第4回 専門性向上研修
令和6年10月7日(月)
演題:「視覚認知の指導において大切にしたいこと」
講師:葛飾区立住吉小学校 主任教諭 長 央
内容:児童の自己有用感を育む学習環境と、教材の工夫(スモールステップの視点)を紹介していただきました。

- ◇第65回弱視教育研究全国大会(名古屋大会)
開催期間:令和7年1月24日(金)～1月25日(土)
研究主題
(1) 弱視幼児・児童・生徒の特性を生かした指導の在り方を考える
(2) 弱視幼児・児童・生徒に対する専門的指導を通して、特別支援教育における弱視教育を考える
主催 日本弱視教育研究会、愛知県立名古屋盲学校
後援 文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、全国盲学校長会、中部地区盲学校長会、愛知県特別支援学校長会、(公財)日本教育公務員弘済会愛知支部、(公財)愛知県教育振興会、社会福祉法人日本盲人福祉委員会、東京都弱視教育研究会

V 調査研究

- ◇「目と手の協応性を高める指導」(研究推進担当)
対象:都立視覚障害特別支援学校・視覚特別支援学校・都内弱視通級指導学級担任
方法:アンケート調査

各校の目と手の協応性を高めるための学習内容の指導ステップについて共有し、今後の指導の指標を立てることを目的としました。

VI 資料提供

本研究会所属校の事例を共有することで、弱視教育に関する知識・実践経験の蓄積を大切にしています。

- ◇令和6年5月13日(月)葛飾区立住吉小学校
・本学級の周年行事・同窓会について
- ◇令和6年10月7日(月)江戸川区立松江第一中学校
・中学校の実態について
・中学校の学習に向けて、小学校の指導で取り扱ってほしいこと
・高校の実態(合理的配慮の事例)

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都弱視教育研究会	
代表者	所属	江戸川区立第四葛西小学校	
	職氏名	校長 永浜 幹朗	
	連絡先	03-3688-9331	
事務局	所属	江戸川区立第四葛西小学校	
	職氏名	教諭 朝倉 由美	
	連絡先	03-3688-9331	
団体ホームページ	URL	二次元コード	
		https://tojyakushi.moo.jp/	
			